

シングルマザーのための就労体験プロジェクトの実施

TIS 株式会社 社員ボランティアの皆様

【パートナー団体：認定 NPO 法人豊島子ども WAKUWAKU ネットワーク】

※申請は豊島子ども WAKUWAKU ネットワーク

■活動の目的:

- 1) コロナ禍で失業・減収を受け、困窮状態にいるシングルマザーに、迅速な仕事の提供と同時にスキルアップを即す就労支援を行う
- 2) 企業と地域が、シングルマザーが地域コミュニティと繋がりながら自立する仕組みをつくる
※当団体の活動へのシングルマザーの参画を有給雇用とし、給与を得ながら
業務経験とスキルアップの場を持つことができる仕組みを構築
- 3) 企業ボランティアは、シングルマザーのスキルアップ機会の高度化を支援するとともに、社員が社会課題に直接触れる機会を得る

■活動を始めたきっかけ（活動開始 2022 年 8 月）:

当団体が行う食料支援に訪れる毎月500人を超える困窮世帯のうち、95%がシングルマザー世帯である。彼女たちは育児と仕事の両立のため、融通の効く非正規雇用に従事する割合が高い。コロナの雇用不況は脆弱な生活基盤をギリギリで維持してきたシングルマザーを直撃した。緊急支援としての食糧支援に並行し、生活基盤の根本改善に向けた支援が必要と考え、当団体の協力者である企業ボランティアと本プロジェクトに取り組むことになった。

企業ボランティアであるTIS株式会社は「ITで社会の願いをかなえる」ことが会社のテーマとしている。当社は事業以外の分野に於いて、社員が社会の願い＝社会課題に直接触れる機会を作りたいと考えており、本プロジェクトへの参画につながった。

■活動内容（ボランティア実数 7 名）:

『WAKUWAKU 就労体験プロジェクト』



2022年8月にプロジェクトを発足し、2023年7月までに16人(失業中11人、非正規雇用5人)のシングルマザーが参加(離婚協議中3人含む)。週1日～4日、1日3時間～6時間の当団体での就労体験および研修中の有給雇用を行った。

当団体での就労体験では、毎月の食料支援の準備と運営、外国籍家庭の書類作成サポートや行政への同行、子ども食堂の手伝いなどの支援活動の他に、団体内のデータ集計や事務作業、メルマガやチラシ作成など、エクセル・ワード・パワポの研修で得たスキルを活かす実践業務

を用意した。

企業ボランティア主催の研修は、PC 研修 8 回、アンガーマネジメント 5 回、キャリアコーチング 4 回。その他に、面接練習やレポート作成など就職活動のサポートを実施した。

TIS 株式会社の社員ボランティアは、プロジェクト体験者募集の段階から参画し、研修内容や募集案内の作成などに於いて協業した。

PCスキル研修の他にも、社員ボランティアの持つ資格を生かしたアンガーマネジメントやキャリアデザインの研修提案があった。子どもに対して怒りを抑えることができずに悩んでいる方が多く、アンガーマネジメント研修は多様な気づきを得る機会になったようだ。キャリアデザインの場合はこれまで子育てと仕事に必死で、自分自身と向き合う機会がなかった方にとって、今後の人生としての仕事を考えるきっかけになり、その後の就職活動にも変化を見ることができた。

体験中に採用面接が決まった方には、TIS 社員ボランティアによる個別に面接練習を実施、これまでアルバイト程度の面接しかしてこなかった方たちに、企業の目線と心構え知る機会となった。

ほぼ一年に渡る本プロジェクトは、TIS の社員ボランティアの関わりで、とても充実したプログラムとなった。毎月の実地研修だけでなく、適宜打ち合わせの場を持ち、困難を抱えたシングルマザー一人一人の状況を共有しながら、就労支援を丁寧に進めることができた。回を重ねるごとに明るい表情になっていくシングルマザーの方たちの顔を見ていただけて、社会課題の現場を、企業の皆さんに直に知っていただく機会でもあったと感じている。皆さんのスキルを活かした支援で、今後とも活躍いただきたいと思う。



■活動の成果:

参加者16人中、就職した方7人、起業(副業)1人、復職1人、勉強など新しい道へ踏み出した方4人、途中離脱3人。

当初は全員同じ内容で研修や就労体験を行なったが、効果が見えなかったため、個別対応で研修や仕事を組み立て、ほとんどの方が3ヶ月から半年で、何らかの答えを出せることがわかった。

有給スタッフとして収入が確保された上での研修と、個人に向き合った丁寧な伴走型支援と当事者同士の交流が、彼女たちのやる気を支えることがわかった。

■強調したいこと:

※以下は TIS 社に社内のボランティアの取り組みについて記載いただいた。

TIS では、以前から人材を最重要の経営資本として、人材に対する先行投資を積極的に推進し、先駆的な人事制度を展開している。社員向けに「社会や地域と関わりながら貢献ができるプログラム」が提供されており、そのプログラムに賛同する社員が専門的なスキルや専門知識を提供するボランティア活動(プロボノ)を行っている。

『WAKUWAKU就労体験プロジェクト』では、社員の PC スキルやキャリアに関する知識を活かして、参加者が就職するまでの伴走を行った。

今回の活動によって、社員同士の協力で1つの実績を作ることが出来た、「何でも気軽に聞ける場づくり」と「建設的で積極的な対話の場づくり」など、本業を行う組織作りに於ける大切なことに気づくことができた。

このような機会を頂きましたWAKUWAKUさんに感謝の気持ちで一杯である。たくさんの笑顔と感謝の言葉、ありがとうございました！

第9回企業ボランティア・アワード『大賞』